



JAF 公認
国内競技
2016-1120

International Rally of TSUMAGOI 2017



2017 年 日本スーパーラリーシリーズ 第1戦
2017 年 JAF 全日本ラリー選手権第1戦
FIA インターナショナルラリー・オブ・孺恋

全日本ラリー選手権

Driver's Comments #6

DAY 3

2017年2月5日

天候：曇りと軽い雪

TC16A (Service F In)

Car#	Class	Driver	Comments
20	JN6	勝田 範彦	コンディションは愛妻の丘は少しだけ無理しないように抑えました。あまり無理しないように走れとは言われているんですが、あんまり気を抜くと良くないので、プッシュはしています。何かあるわからないので、午後はもっと慎重に行こうと思っています。 門貝は滑りますね、他はあまり滑らないと思います。
21	JN6	奴田原 文雄	車の調子は、まあヒストリックカークラスですからね(笑)。 路面は走るたびに滑りやすくなっていくので、どんどん難しくなっていますね。残り1セクション、気は抜かずにこのままのペースで行きます。
22	JN6	新井 敏弘	門貝パノラマのスタート後3つ目のコーナーで、時速20kmくらいのゆっくりのスピードで壁に当てたら、壁の中に何かあったのかフロントの右がバーストカリム落ちてしまっただけ。そのまま最後まで走ったので、40秒弱くらいロスとしてしまったよ。3番手の奴田原選手とのタイム差は7秒7だから、両方で真剣な争いだよ。
23	JN6	鎌田 卓麻	車の調子は良くて、よくコントロールできています。昨日 40 秒遅れた分は少しずつ返しています。2 位キープで行きます。3 位までは 1 分くらいあるので、とはいえデイポイントもあるので、行くところは行かないと、と思っています。
24	JN6	福永 修	路面はまあまあ想定内の滑り具合、ポブスレーのような感じで、自分の思ったところに行けない歯がゆさもあるし、かといってトップにだぶ置いて行かれているから、それが悔しいとも思います。現状、どうやったらトップ争いができるかという点については、まだ答えが出ていませんね。スノーもグラベルも、走りを考えなければなりません。
25	JN6/JSR	竹内 源樹	愛妻の丘でサードベストを獲れました。フルプッシュで、タイム的にも良かったのですが、門貝パノラマ(SS15)は自分のドライビングミスでスピンしてしまいました。大前須坂(SS16)は登り、路面がツルツルで



JAF 公認
国内競技
2016-1120

International Rally of TSUMAGOI 2017



			何もできなくて、タイムが大きく負けてしまいました。午後の1セッションも頑張ります。
31	JN3	天野 智之	雪が降ってきたのもあって、大前須坂(SS16)でチェーン装着許可の指示が出ました。タイム的には門貝パノラマ(SS15)で、下りがツルツルだったので抑えたら抑えすぎちゃって、後ろのちょっと負けましたけど、あとは全部ベストを獲っていて、デイ3も今 30 秒くらいは買っているので、デイポイントも行けそうです。完全制覇を狙っていますが、全体的に危なくなってきたのでまずは完走を考えたほうがいいと思っています。
32	JN3/JSR	唐釜 真一郎	ツルツルでスタッドレスだとうまく走れないですね。大前須坂(SS15)でチェーンを使っていますが、スピンしてしまって、15秒くらい失ったかな。パノラマでベストを獲れたのは嬉しいですね。全日本より、JSRの2駆のトップを目指しています。最後のセッションも気を抜かずプッシュします。
35	JN3/JSR	南野 保	ちょっとサバイバルになってきましたね。車も慣れていなかったのですが、ようやく慣れてきた感じですね。残り1セッションも最後決めようと思っています。
36	JN3	渡部 哲成	朝からオーバーヒートでTC遅着のペナルティーを受けてしまいました。が、なんとかここまで来ることができました。おそらくパルクフェルメでクーラントが凍ってしまって、冷却が回らずに最初のSSIに向かう途中でオーバーヒートしてしまいました。オーバーヒートの症状は解決しています。順位は今、まあまあいいところにいるようなので、しっかり走ります。